

稲わら等の有効利用に関する 取り組みの現状

水稻栽培暦等による啓発



JA晴れの国岡山 水稲栽培ごよみ

有機物による土づくり、穂づくり、味づくり!

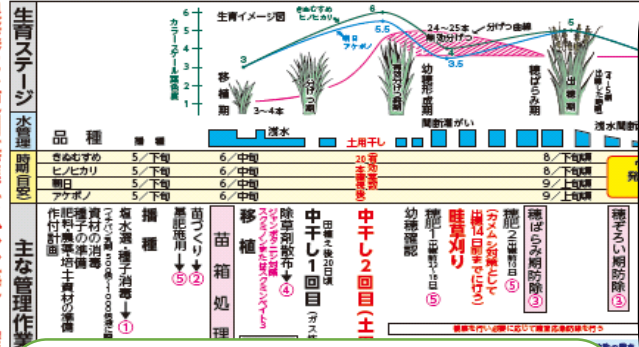
※被覆肥料の殻を水田から流れ出さないようにしましょう。

1. 毎年種子更新で優良米品種の作付けをしましょう。
2. 育苗期は、育苗温度を厳密に管理し、一斉発芽に努めよう。
3. 高温、低湿、乾燥は前害の発生や苗質を低下させるので注意。
4. 育苗後半は、自然条件に任ぜらる。
5. 病害虫の適正防除で品質向上につとめよう。

栽

晴れの国ブルースカイ — 野焼きをやめて岡山の空をもっと美しく! —

農業は、使用基準(ラベル等)を確認し、適正使用を厳守しましょう。



令和5年産より

西部広域営農経済センター管内 (11,140枚)

液剤主体

◇除草剤の使い方

田齢	除草剤
初期	ジャンボ用
中期	1キ口用
後期	フロアブル用
収穫前	草の多い圃場

代かきから田植えまで一週間以上おける圃場

※除草剤使用上の注意

※水稲除草剤の使用時期を守り、散布後の止水管理を徹底しましょう。

◇育苗中の管理(稚苗)

種	18枚	4枚	150g(1.5畝)	2.7kg
あゐる式中苗	22~26枚	21g	110g(1.1畝)	2.4~2.9kg
ボット成苗	30~34枚	21g	4枚	55g(0.6畝)

○薄積りで健全な苗づくり。
○発芽温度を厳密に、一斉発芽に努めよう。
○高温、低湿、乾燥は前害の発生や苗質を低下させるので注意。
○育苗後半は、自然条件に任ぜらる。
○乾燥に注意する。

肥料

肥料名	高肥
らくだ名500	35
けいぞく加量プレミア	30
富士重機油	10

晴れの国ブルースカイ — 野焼きをやめて岡山の空をもっと美しく! —



有機物による土づくり、穂づくり、味づくり!

※被覆肥料の殻を水田から流れ出さないようにしましょう。

優良米の要諦

1. 毎年種子更新で優良米品種の作付けをしましょう。
2. 深耕と有機物・土づくり資材で健全な土づくりをしましょう。
3. 早期移植は、高温障害により心白、乳白粒が発生しやすい。
4. 早稲は、高温障害により心白、乳白粒が発生しやすい。
5. 病害虫の適正防除で品質向上につとめましょう。
6. 早期灌水は、潤滑れ米など品質低下となるので、対策として走り水を行きましょう。(土壌水分保持)
7. 適期収穫と適正な乾燥調整(玄米水分14.5~15.0%)で。

栽培管理

農薬は、使用基準(ラベル等)を確認し、適正使用を厳守しましょう。

生育ステージ	水稲	品 種	5 / 下旬
時期		きんむすめ	5 / 下旬
		ヒノヒカリ	5 / 下旬
		朝日	5 / 下旬
		アサノ	5 / 下旬
主な管理作業		苗箱防除	5 / 下旬
		1年口用	5 / 下旬
		フロアブル剤	5 / 下旬
		草の多い圃場	5 / 下旬
		代かきから田植えまで一週間以上あける圃場	5 / 下旬

生育イメージ図

24~25cm 分け蒔き

※堆きゅう肥・稲わら・山草等は収穫後なるべく早く入れスキ込む。

全地区 3 6 , 3 1 0 枚

除草剤の使い	田植え前	田植え時	田植え後
田植え前	ジャンボ剤	ジャンボ剤	ジャンボ剤
田植え時	ジャンボ剤	ジャンボ剤	ジャンボ剤
田植え後	ジャンボ剤	ジャンボ剤	ジャンボ剤

本日の施肥計画	田植え前	田植え時	田植え後
田植え前	ジャンボ剤	ジャンボ剤	ジャンボ剤
田植え時	ジャンボ剤	ジャンボ剤	ジャンボ剤
田植え後	ジャンボ剤	ジャンボ剤	ジャンボ剤

※水稲除草剤の使用時期を守り、散布後の止水管理を徹底しましょう。

晴れの国ブルースカイ ― 野焼きをやめて岡山の空をもっと美しく! ―

稲作をしている みなさまへ

もったいない!

稲わらは燃やさず、
すき込むのがおトク!



広がっています! すき込みで土づくり

広報誌での啓発

組合員

約6,900人への配布

稲作をしている みなさまへ

もったいない!

稲わらは燃やさず、
すき込むのがおトク!



広がっています! すき込みで土づくり

栽培講習会での啓発

